

# 第74回 北海道バドミントン選手権大会

## 開催要項

- 主催 北海道バドミントン協会
- 主管 釧根地区バドミントン協会
- 後援 北海道教育委員会、(公財)北海道スポーツ協会、釧路市教育委員会  
釧路市スポーツ協会
- 期日 令和3年8月19日(木)～22日(日) ※競技日程一日増(当初20日から)
- 会場 湿原の風アリーナ釧路 (〒085-0064 釧路市広里18番地 Tel.0154-38-9800)
- 種目 〔高校〕男子シングルス・女子シングルス・男子ダブルス・女子ダブルス  
〔一般〕男子シングルス・女子シングルス・男子ダブルス・女子ダブルス  
混合ダブルス
- 競技日程 8月19日(木) 

公式練習	午前11時00分～午後15時55分
競技説明	午後16時10分 ●レフェリーから諸注意
競技開始	午後16時20分 一般男女複(1回戦)

※ただし、一般のエントリー数が少ない場合は、一般男女複1回戦は  
翌日20日(金)に変更することがある。

8月20日(金) 

競技説明	午前9時00分 ●レフェリーから諸注意
競技開始	午前9時10分 高校男女単・複、一般混合複、一般男女複

8月21日(土) 競技開始 午前9時10分 高校男女単・複、一般男女単・複  
8月22日(日) 競技開始 午前9時00分 高校男女単、一般男女単
- 競技規則 令和3年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程による。
- 使用用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和3年度第1種検定合格水鳥球を使用する。
- 競技方法 各種目ともトーナメント戦方式とし、3位決定戦を行う。
- 参加資格 (1) 令和3年度北海道バドミントン協会に登録済みの者で各地区協会から推薦された者。  
及び (2) 各地区割り当て及び推薦選手の高校3年生は一般の部に参加できる。  
参加制限 (3) 推薦の3年生は混合複(MIX)への参加を認める。一般選手とのペアによる一般複(MD・WD)、混合複への参加を認める。ただし混合複と一般複は兼ねられない。

### <各地区協会割当数3年生>

地区協会名	函館	室蘭	苫小牧	小樽	札幌	南空知	北空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧根	開催地	計
割当数	2	1	1	1	3	1	1	2	1	1	2	1	1	18

※推薦基準 ①国体道予選のベスト8、高体連大会南北ベスト4に入った3年生。

②選手強化委員会からの推薦者

(4) 高校の部は男女単・複とも下記参加割当数及び推薦選手の高校1・2年生とする

<各地区協会割当数1・2年生>

地区協会名	函館	室蘭	苫小牧	小樽	札幌	南空知	北空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧根	開催地	計
割当数	5	3	3	3	8	3	3	5	3	3	5	4	1	49

※推薦基準 ①国体道予選のベスト8、高体連大会南北ベスト4に入った1・2年生。

②選手強化委員会からの推薦者

## 12. 推薦選手

●高校の部 \*複において推薦選手同士の組替えは認める。

[男子単] 伊藤彰悟②(旭川実業)、小島滉貴②(旭川実業)、小關優心②(北海)、畠山大和②(札幌龍谷)  
河北勝希①(札幌龍谷)

[男子複] 越川 匠②・高橋吏玖②(帯広柏葉)、佐々木颯太②・伊藤彰悟②(旭川実業)  
小島滉貴②・中村樹希②(旭川実業)、小關優心②(北海)

[女子単] 土佐梨緒菜②(旭川実業)、江口 碧①(帯広大谷)、山家くるみ①(とわの森三愛)

[女子複] 嶋村瑞希②・獅子原瑚桜②(旭川南)、青柳 遙②・坂本美緒②(札幌静修)  
山田桜生②・後藤李々子②(とわの森三愛)、濱下亜美②(帯広大谷)

●一般の部に出場できる高校3年生 ※複において推薦選手同士の組替えは認める。(他地区との複も可)

[男子単] 池田侑輝(帯広大谷)、砂原泰斗(帯広大谷)、太田 蓮(旭川実業)、富樫柚月(札幌龍谷)  
西根寛弥(札幌龍谷)、西野颯太(札幌龍谷)、高山悠大(札幌龍谷)

[男子複] 太田 蓮・菊地陸哉(旭川実業)、池田侑輝・岩間琉哉(帯広大谷)  
西根寛弥・高山悠大(札幌龍谷)、富樫柚月・西野颯太(札幌龍谷)

北條知優・漆 唯真(札幌北斗)、志賀谷 想・今 海智(函大有斗)、川口兼司(北海)

[女子単] 川等花菜(旭川実業)、澤沼音里(旭川実業)、中塩胡桃(旭川実業)、前田来実(旭川実業)  
高橋あかり(旭川実業)、石崎美聖(旭川北)、小原陽夏(とわの森三愛)、平元さや(とわの森三愛)  
開発菜子(とわの森三愛)、野上結菜(とわの森三愛)、長谷楓香(北海)

[女子複] 高橋あかり・川等花菜(旭川実業)、澤沼音里・志摩紗希(旭川実業)  
前田来実・中塩胡桃(旭川実業)、桜本和李・山本穂乃花(札幌静修)  
長谷楓香・小林結愛(北海)、小原陽夏・平元さや(とわの森三愛)、  
開発菜子・野上結菜(とわの森三愛)、高橋遥菜・高橋心寧(札幌北斗)  
藤川星凧・小柳天了(遺愛女子)

13. 参加料 高校生 1種目 2,500円(一般の部に参加する場合も同じ)  
一般 1種目 3,000円

14. 申込締切日 令和3年7月28日(水)必着のこと。

15. 申込方法 参加申込書、参加申込集計表、監督・練習パートナー名簿、出場チーム監督選手数一覧に必要事項を記入し、各協会一括し、下記大会事務局にデータと郵送で申し込むこと。また、参加料も各協会一括し、下記口座に振り込むこと。

(申込先) 〒085-0035 釧路市共栄大通5-2-1  
釧路地区バドミントン協会 事務局長 山木誠一(宛)  
(TEL0154-64-5234 FAX0154-64-5234)  
(e-mail: bado946@yahoo.co.jp)

(参加料振込先) 釧路信用金庫 本店  
釧路地区バドミントン協会 会長 草島守之  
(普通) 口座番号 1028060

16. 組合せ 令和3年8月1日(土)、午後13時00分から札幌市産業振興センターにおいて関係者立  
合いの上大会レフェリー(競技役員長)・北海道バドミントン協会競技委員会が行う。
17. 表彰 各種目とも上位3位まで表彰する。
18. 宿泊 とくに斡旋しない。
19. 備考 ①選手は、大会運営規程第23条により、色付き着衣の場合は審査合格品とし、背面表示を  
義務づける。高校生は所属高校名、一般は申込をした企業名・協会名・チーム名とし、その  
他の表示については同規定第24条の範囲内とする。
- ②前年度優勝者は優勝杯を必ず返還すること。
- ③審判については敗者審判制とします。ご協力をお願いします。
- ④8月19日(木)の公式練習は、午前11時00分からの予定です。(割当は別紙)
- ⑤大会期間中の体育館開館時間は、午前8時00分の予定です。
- ⑥大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目  
的に使用することはありません。

## 20. 新型コロナウイルス感染症対策を講じた運営について

- 今大会は、公益財団法人日本バドミントン協会が作成した「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」の「3章バドミントン競技・イベント実施にあたって」(2月8日改訂)および北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」(別冊参照)に準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先し、下記のとおり実施します。

- ①開閉会式は行わず、競技説明(19日公式練習終了後、および20日朝の公式練習終了後～レフェリーからの諸注意)および表彰(随時)のみ行います。
- ②入場制限をします。会場内への出入りは、原則試合当日に出場する選手および監督(顧問・コーチ)、大会役員、補助生徒のみとし、IDを必ず着用すること。  
ただし、シングルスに出場する選手については、公式練習における練習パートナーの必要性を考慮し、そのパートナー1名の入場を許可します。その場合もIDを着用すること。
- ③無観客試合とします。保護者等の入場はできません。
- ④コートサイドには、ラケット・タオル・ドリンクを入れるカゴは設置しないので、各自のバッグに入れて保管する。
- ⑤インターバルの時間は設定しますが、ボードは使用しません。

⑥次の書類を必ず提出して下さい。次の書類を必ず提出して下さい。

【提出書類A】健康状態確認シート一覧（男女別・学校およびチーム用）

～大会初日（公式練習日）の受付時に男女別に提出する。

※大会初日に提出できない場合は、2日目以降会場に初めて入館する際に提出する。

※チームに所属せずに一般種目にエントリーする場合であっても、書類の中のチーム名欄に職場名・地区協会名等を記入して、【書類A】を提出すること。

※各自、自宅（宿泊先）で検温を済ませておくこと。（入館時に検温する場合あり）

【提出書類B】健康状態確認チェックシート（個人用）

～大会2日目以降は毎日朝、競技開始前に監督が学校単位・チーム単位で参加人数分をまとめて、受付に提出する。（2日目以降については、【書類A】の提出は不要）

※役員については、大会初日（公式練習日）から【書類B】のみ提出する。

※各自、自宅（宿泊先）で検温を済ませておくこと。（入館時に検温する場合あり）

※【書類A】・【書類B】は、主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理します。

⑦ホテル・旅館等に宿泊する場合は、大部屋を避けてシングルあるいはツインの部屋を手配するよう努め、宿泊施設の新型コロナウイルス感染症防止対策に従って下さい。

⑧移動手段として貸切バス等を利用する場合は、利用者は最小限の人員とし、できるだけ間隔を空けて座るよう配慮する。また、乗車中もマスクは着用すること。

●新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、この大会を中止にする場合があります。